



亥年 スタート 心新たに...



新しい年で
あすよう:



1月第1例会『清祓い式』にて

2006~2007 年度

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 国際会長プログラム | 「われわれは奉仕する (We Serve)」 |
| 336A 地区ガバナーズスローガン | 「友情の輪を広げ 共に楽しい奉仕」 |
| キーワード | 「フレンドシップ (Friend Ship)」 |
| クラブ会長スローガン | 「おもいやりと感謝の心で奉仕の輪」 |
| キーワード | 「地域とともに」 |



新年明けましておめでとうございます。

九日の第一例会では、朝十時に執行部全員で石鎚神社大神の御前にて、クラブ会員のご健康と弥栄をご祈念してまいりました。又、例会での「清祓式」と十亀宮司様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。



会長 加藤誠也

さて、近年日本の経済も緩やかながら上昇しつつあります。そうした中で少子化問題、青少年の非行問題、交通事故問題等社会問題が山積みしております。また、団塊の世代の方々が定年を迎えようとしています。私も本日満71歳を迎えました。西条ライオンズクラブにおきましても、世代交代が急務となっております。若い人材を確保していきたいと念願するものであります。西条ライオンズクラブの執行部を拝命致しまして、早や半年になります。アクティビティでは、「国際平和ポスター」「早朝清掃」「西条ライオンズクラブ杯西条少年軟式野球大会他スポーツ大会後援」「献血」「CSF 募金活動」「もちつき奉仕」「R194号線沿い周年記念植樹場所の下草刈り」等、クラブ行事では、「夏の家族会」、「2Rスポーツ大会」「2Rゴルフ大会」「年末家族例会」がそれぞれの委員会の皆様の協力により、行われてまいりました。

特に年末の家族例会には、『出席率100%』という快挙を遂げ、奉仕活動・クラブ運営ともに勢力的に取り組んで頂き、深く感謝するものであります。あと残された半年を、誠心誠意かつ楽しく奉仕活動に邁進してまいりたいと思っております。どうか、ご協力の程、宜しくお願い致します。

あけましておめでとうございます。

昨年はメンバーの皆さんのご協力に依り、上半期を有意義なライオンズ活動ができたと思っています。大変感謝しております。2007年に入り、本年度の執行部も残り半年間になりますが、メンバーの皆さんと共にライオンズクラブでの活動の中で楽しい思い出創りに、心を新たに頑張っていきたいと思っています。

“加藤丸、46周年楽しい思い出創りにWE SERVE”



幹事 明比紳一郎

皆様、輝かしい年をお迎えのことと存じます。

第46期執行部が船出して、半期を終えました。先の理事会にて、上半期クラブ会計収支報告をし、ホッと一息ついているところです。今期は、前年度が45周年の年に当たり、クラブといたしましても、何かと出費が高んだ1年であったためか、今年度の事業資金収入の源であるドネーション収入が、伸び悩んでいるのが現実であります。

あと半期、もうひとふんばり気合を入れて、ライオンズ活動に邁進する所存です。皆様、応援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



会計 伊藤孝司

あけましておめでとうございます。昨年7月から『テール・ツイスター』をさせて頂き、当初はチャンと任務遂行できるか不安でしたが、開会・閉会時間だけは無事厳守出来たと思います。下期は初心を忘れず、上期で遅れをとっています“ドネーション”に皆様より、より一層のご協力を頂けるよう頑張りたいと思います。

今年もご指導の程よろしくお願い申し上げます。



テール・ツイスター 盛實正人

明けましておめでとう御座います。平成19年の新春を迎え皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。さて加藤会長も任期を半分過ぎ少し肩の荷を降ろしているのではないかと思います。私事ではありますが、ある占いによりますと大殺界の3年目で悪い年が終わるそうです、この1年無事に乗り切れば良い年が訪れるのではないかと思います。50歳も過ぎれば少しずつ無理が利かなくなりましたが、今期は何とか体調も崩れることなく順調にライオンテマの任期を消化し、大殺界を乗り切って居ります。ライオンズではまだこれから大きな事業も残っておりますがメンバーの皆様も健康に留意し残りの半期、多大なご協力を頂き一緒にがんばりましょう、宜しくお願い致します。



ライオン・テマ 寺川治美

「喜寿によせて」

L. 西原 功

明けましておめでとうございます。

本年1月第1例会に於いて、石鎚神社の御霊の前で、喜寿の御祈禱をして頂き真にありがとうございます。私は昭和43年に越智英明Lと一緒に当クラブに入会し、在籍最古参となりました。先輩諸兄Lが築かれた西条ライオンズクラブの歴史と伝統の偉大さは、今更ながら感銘しております。幸い私は、現在健康です。生涯現役を目標に本年も例会純出席100%を維持し続けアクティビティにも体力に応じて参加し、職業的にもウィサーブで行動し“ライオンと呼ばれる人”に万分の一にでも近づきたいと願っております。どうか宜しくお願い致します。



「還暦雑感・初心にかえる」

L. 瀬川大秀

還暦とは「暦を還す」暦が一回りして元にかえるとのこと。昔は人生、五十年・・・還暦はまれなり・・・とか申しまして、還暦を迎えられることはそうたやすいことではなかったようです。では今日だれでも、たやすく健康で迎えられるかといいますと、決してそうではありません、還暦を迎えるにあたり、あらためて元気で生活をさせていただいていることに感謝いたします。戦後生まれの「団塊の世代」が私たちの年齢です。高度経済成長とともに突き進んでまいりました、日本そのものが私たちの姿ではないでしょうか。少し、ここで立ち止まり、周囲を見渡し、これからの残された人生をどう過ごしていけばよいのか考えたく思います。元気で働けることに感謝して、今後ともライオンズメンバーとして皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。



「 還暦を詠う・・・ 」

L. 日吉洋二

もう還暦・・・なんですね

ベビーブームに生まれ落ち 子どもの時より競争時代

若いつもりでいたけれど 頭も体も衰えながら いつの間にか 60年

ああ夢の夜や夢の夜や あっという間の走馬燈

人生 夢まぼろしのごとくなり と言いますが 死んで花実が咲くじゃなし

まだまだ元気で長いはず いつでも夢を胸に秘め もう一回り 大還暦まで頑張ります

西条LCの皆様方 どうぞ宜しくお願いします。



「 年男を迎えて 」

L. 山本新一郎

いのしし年の48才!!今年は、いろいろな面で大きな節目の年になると思っています。子供も来年は2人共受験です。家族全員今年も1年元気で過ごせますように!!今年がんばって ヤセるぞ!!



「 年男を迎えて思ふ 」

L. 國田経仁

本年度の会報誌への投稿が多くて、これで3回目となりました。今回は年男を迎えてのことで、それに関する思いがあればということで書かせていただきます。自分自身は年齢の事を普段はあまり考えないようにしていますが、今年自分の干支が来てどうしても年齢を強く意識しなければならなくなって少し気おくれしています。しかし、自分の子供達の成長を見ていると、年月の流れを感じざるをえません。信長の人生50年という言葉から言うと、私はそのほとんどが終わったことになり今まで何をしてきたのだろうかと反省してしまいましたが、人生五十にして立つという言葉から、これからが人生の最高潮に向かうのだと思い、よし、これからだと思っています。先のわからない時代にあって、次の年男(還暦)を迎える頃はどうなっているのでしょうか。今はただただ、一日一日を精一杯がんばるという思いで・・・





平成19亥の歳と年あらたまり、打ち続く悲惨な事件の連続はとどまることなく、人心を闇夜の淵へといざなう。冬空に冴える満天の星々、消え入りそうな星の淡い光、その中で地球の数多無限の生命を慈しむかのごとく、限りない優しき月の光のなんと美しいことか。闇夜を照らす光には、この優しさと慈しみが必要である。太陽の明々とした光は、人生の生老病死の苦しみ、怨憎会苦、愛別離苦等の四苦八苦の厳しき風に喘ぎ疲弊しきった人々の眼や心身には、強く鮮烈であるがゆえに、自らの生命、魂の存在はもとより、その行方まで不明にしてしまう。

近代文明は太陽の明るさを求め続けてきた。電球、電子、原子・・・等々。強く明るく正しくあれと。一方慈愛に満ちた優しき月の光は、人々に讃仰されることなどほとんど無くなってしまった。あるのは、まばゆい電飾やテレビ、パソコン等に眼も心もうばわれた行先不明の自分がある。

昨年末に詩人の坂村真民さんが逝かれた。私も何度か尊いご縁に恵まれ、いたく感動したことを昨日のごとく、今思い起こしている。最初の出会いはもう20有余年前にならうか。当寺に「念ずれば花ひらく」の句碑が創建されたときである。世界中に建立された700を越す句碑のうちの137番目となった句碑を両手で抱きかかえ、幼子を慈しむごとく額を押し当て一心に念ずるその様は、この世の苦しみや悲しみそして、愚かさの一つ一つを深く包み込むような気高さを放ち、余人近寄りがたい異次元空間となった。

求道者というべきその謙虚なる生涯は午前零時に起床、静寂なる霊気の中で瞑想打座、念仏。午前3時半には重信川を散策、大地に額ずき至心に地球の平安と人類の幸福を祈り詩作に耽る。只、ひとり肅々と続けられたのである。寡黙の人であり人前で話をすることを好まず、至心に人々の幸福を念ずる。以来、数度となくお逢いしたけれどもその姿勢は変わることなく私の心の奥に生きついでいる。「謙虚」という語に接するとき、真民さんのことが、すぐさま思いきたりて人の生き様、有り様を考えさせられる。現世情の混乱を思えばなおさらである。大自然に対し、人様に対し、神仏に対しそして、自らの生命と魂に対し「謙虚」でありたいと念ずる私の日々である。二度とない人生だから・・・。

終わりに真民さんが、当寺にて「念ずれば花ひらく」句碑創建の際、詠まれた詩を呈し、月となり星となりそして、風となった真民さんを讃仰敬慕すると共に、「謙虚」の大事を教えとして生きよう。

『白い霊気』・・・ 坂村真民 作

石鎚山麓の極楽寺に 念ずれば花ひらく 第137番碑が建立され
 霊峰石鎚が 有縁のものとなった
 龍王さまも 天狗の子らとも 尊いつながりができ
 わたしの血を熱くする
 立ちのぼる 神の息吹きよ 白い霊気よ 碑を守り
 石鎚の山と共に永遠なれ



【編集後記】 平成19年亥年の年明である。昭和22年生まれの人々が定年を迎える。いわば団塊の世代そのものである。大きな会社、警察までもが経験豊かな人材を失う時となる。眼耳手足、年齢を重ねると段々と弱って来、眼が見えなく耳が聞こえなく、手足も駄目になってくる。しかし40年間使って来た眼耳手足、いわゆる身についたものは若い世代の者には伝わらない、今から育つ若人諸君、両手両足で土を踏み、体で覚える様努力をしましょう。 藤田公道

発行所 ライオンクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
 西条ライオンズクラブ

事務局 〒793-0027
 西条市朔日市 779-8
 西条商工会館3F

TEL (0897) 56-3980

FAX (0897) 56-9251

E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

http: //www6.ocn.ne.jp/~saijo-lc/

発行者 会長 加藤誠也
 幹事 明比紳一郎
 PR・広報委員長 山本新一郎
 編集委員 野間賢次郎・加藤 茂・藤田公道
 妻島 健・伊藤隆治・近藤嘉博

例会日 第1・第3火曜日

例会場 黒猫レストラン

印刷 西条ライオンズクラブ事務局